

有限会社昭和堂

地域で唯一の和菓子店が息子への事業承継を機に、素材にこだわった手作りパンの販売も開始。コロナ禍の中で業績回復の原動力となっている。



4代目が想いを受け継いでくれました

前代表者 鈴鹿 範子さん

地域の方々を

「美味しい」で笑顔にしたい

現代表者 鈴鹿 博之さん

STORY'S POINT

- ☑ 閑静な山里に店を構え、昭和初期から営業を続けてきた和菓子店。地元の素材を使った和菓子は、長い間、地域の人々から愛されており、贈答用としても重宝されている。
- ☑ 前代表者の鈴鹿範子氏は、先々代の逝去に伴って、急遽、事業を受け継ぐことになった経験から、自分が元気なうちに、余裕をもって息子の鈴鹿博之氏に事業を託したいと考えていた。令和元年9月に、博之氏は代表者に就任。事業承継を機に、かつてパン職人だった妻の恵美氏に協力してもらい、国産の小麦等の素材にこだわった手作りパンの販売を開始した。
- ☑ 事業承継後、コロナ禍における会合自粛等の影響で、贈答用和菓子の売上が減少するも、パンの売上により、コロナ禍で落ち込んだ業績が回復。和菓子と同様、ショーケースで販売するなど、感染対策も徹底している。

Company Information -----



所在地 岡山県久米郡 従業員数 2名
 創業 昭和元年 年商 29百万円
 業種 和菓子製造販売業

前代表者

鈴鹿 範子さん(当時62歳)

当社の3代目。事業をしっかりとしつと引継ぎたいとの想いから、息子への事業承継は早めに進めたいと考えていた。

親族内承継(令和元年9月)

現代表者

鈴鹿 博之さん(当時34歳)

当社の4代目。学卒後、当社の従業員として、主に和菓子の製造を担ってきた。結婚を機に、事業を受け継ぎ、代表者に就任。

事業承継までの道のり

現代表者

前代表者

約100年前

曾祖父が駄菓子店として創業

約80年前

法人成り

約50年前

有限会社昭和堂に商号変更
この頃から和菓子が主力商品となる

約40年前

祖父が2代目に就任

約20年前

祖父の逝去に伴い、
範子さんが3代目に就任

約15年前

令和元年

9月

博之さんに事業承継
店頭で接客を担い、店の運営をサポート

令和2年

4月~

自慢の商品は？

博之:和菓子の看板商品は、「石の華」です。風味豊かに炊き上げた餡の中に柔らかな求肥をひそませた和菓子です。できるだけ地元の素材を使用した和菓子作りにこだわっています。



東京の和菓子学校で製造技術を学ぶ
当社で和菓子職人として従事

4代目に就任
事業承継を機に、パンの製造販売を開始

コロナ禍に直面、会合自粛等の影響で
贈答用和菓子の売上が減少
パン販売が和菓子の売上減少分をカバー

今後の取組みについて教えてください

博之:この美咲町も高齢化が進んでおり、お店に来ることができなくなった常連のお客さまも多くなってきました。そうした方々に、美味しい和菓子やパンをお届けするため、移動販売を開始できないか検討しているところです。コスト面等の課題はありますが、お客さまに喜んでもらうために、将来的にぜひ実現したいと思っています。



お客さまからの評判は？

範子:美咲町には、焼きたてのパンを提供するお店は少ないので、地元の皆さんから大変喜ばれています。ショーケースに入れて対面販売しているので、安心して購入いただいていますし、パンを選ぶ際、お客さまとの会話も自然と弾み、少しずつリピーターが増えていることを実感しています。



コロナ禍でも売上アップ！ 4代続く和菓子店が、手作りパンの販売で多角化



看板商品の「四代目」。生クリームと蜂蜜を入れてふんわりと焼き上げています。

SNS用の写真を撮る範子さん。「映える写真の撮り方講座」も受講されたそうです。

定番のパンや季節限定のパンなど色々な種類を販売しています。

和菓子店がパンの販売を開始 事業承継を機に、後継者が新事業を立ち上げた

範子 私は父の逝去に伴い、急遽、3代目として代表者に就任しました。経営のことは父にしかわからないこともあって、苦労した記憶があります。ですから、私が息子に事業を託すのは、自分が元気なうちに決めていました。

博之 私が経営者になるのは、もう少し先かなと思っていました。あるとき、商工会青年部のメンバーから、「急な事業承継は大変だ」という話を聞き、それなら早いうちが良いと思い、商工会の経営者セミナーに参加するなど、少しずつ事業承継に向けた準備を始めました。

範子 周辺のお店が徐々になくなっていく中、地元の人々を笑顔にする美味しい和菓子を提供し続けたいという想いがありましたので、息子から事業を受け継ぐ決意を聞いたときは本当に嬉しかったですね。

博之 事業承継を機に、和菓子だけでなく、手作りパンの販売を開始しました。パン作りは、パン職人であった妻に協力してもらいました。和菓子の製造設備は、パンの製造にも使えるものも多いので、新たな設備投資はパンの発酵機くらいでした。事業承継補助金*の活用により、設備投資にかかる資金面の負担を軽減することができました。

範子 和菓子と同様に、地元産の卵や国産の小麦等、こだわりの素材を使用した手作りパンです。看板商品は、「四代目」という食パン。息子が代表者になったことを、お客さまに知ってもらうきっかけになればと思い、名付けた商品名です。お客さまから「なぜ“四代目”なの？」とよく聞かれます(笑)。

コロナ禍で和菓子の売上が減少するも、 パンの販売が売上回復に貢献

博之 コロナ禍の影響で、会合等の中止が相次ぎました。当社の和菓子は贈答用として使われることも多いので、和菓子の売上が減少してしまいました。一方で、パンはどこの家庭でも食卓に並ぶもの。内食志向もあって、来店客数は増え、和菓子の売上減少分をカバーしてくれました。和菓子を一緒に購入していただくお客さまも多く、客単価もそれほど落ち込まず維持できています。また、新しい商品を次々と打ち出していったことも、来店客数の増加につながったと思います。

範子 和菓子と同じように、パンをショーケースに入れて販売しているので、お客さまも安心してお買い物ができるでしょう。私は、焼きたてパンの写真を撮って、タイムリーにSNSで発信しています。

博之 当社は、時代の変化に合わせて販売する商品を変えてきました。創業当初は、砂糖が希少だったので駄菓子を販売していました。根底にあるのは、美味しいものを食べて笑顔になってもらいたいという想いです。コロナ禍で外出もままならない中、美味しい和菓子やパンを食べて、毎日明るく元気に過ごしてもらうことができれば嬉しいですね。

範子 お客さまに必要とされるためには、絶えず工夫しながら、変えるべきところは変えていかなければなりません。ただ、先代からあれこれ口出しをされては、新しい発想も出てこないと思いますので、私は、あくまでサポートに徹して、息子夫婦がやることを見守るようにしています。

*事業承継、事業再編・事業統合を契機として経営革新等や事業転換を行う中小企業者等に対して、その新たな取組みに要する経費の一部を補助するもの

Message

経営環境の変化に立ち向かう経営者の方へ

「事業承継」の力とは

新たな取組みを行ったことで、 経営者としての能力を高められた

博之 手作りパンの販売を始めるにあたって、商工会のサポートを受けながら、今後の事業計画を策定しました。現状分析等を行うことで、自社の経営内容をよく知る良い機会になりましたし、新たな取組みを実施すべきかどうかを判断する方法を学ぶこともできました。事業承継を機に、新たな取組みを行ったことにより、経営者としてのスキルを伸ばすことにつながりました。



常連客の支えがある

博之 経営環境が変化する中で、4代にわたり営業を続けてこられたのは、地域のお客さまの支えがあったからです。また、これまで先代が培ってきた信頼の大きさも実感しています。これからも、常連のお客さまが飽きることがないように、いつ来店しても新商品が並んでいるお店にしていきたいと思っています。



これまで培ってきたノウハウを 新たな取組みに活用できる

範子 和菓子の人気商品に「黒糖饅頭」というものがあります。餡子は、「朱鞠」という希少品種の小豆を使っています。この餡子を使ったパンを販売したところ、お客さまから美味しいと好評です。代々培ってきた和菓子作りのノウハウを活用した新しい商品が生まれ、お客さまにも喜んでいただくことができ、嬉しく思っています。



人気商品の「黒糖饅頭」。上品な甘さのこし餡がたっぷり入っています。